※事務事業コード/ 0110040202 平成 26 年度 事務事業シート ● 無 ○ 有 (平成 部署名 | 部 | 教育委員会 課電ヶ浦公民館 事業年度期限 年度~平成 年度) 款•項•目 100402公民館費 新規/継続 市民協働 総合計画コード 共催 3215 事業名 (事業区分1) 02公民館運営審議会運営事業 目的 公民館事業計画、実施について調査及び提言を受けることで、地域の実態と特性を踏まえた事業と特色のある公民館活動を推進する。 (成果) 内 容 社会教育関係者、学校教育関係者及び学識経験者15名の構成による。 (概要)

■事業費 (単位:円) 平成25年度 決算 平成24年度 決算 平成26年度 予算 公民館運営審議会を開催(年2回)した。地 公民館運営審議会を開催(年2回)する。地区公民館の 事業内容 公民館運営審議会を開催(年2回)した。 区公民館のあり方について、館長が諮問 あり方について協議を行い、その方向性について答申 をもらう。 (特記事項) 〇25年度主な支出 国庫支出金 国庫支出金 国庫支出金 公民館運営審議会委員報酬 県支出金 県支出金 県支出金 142.500円 市債 市債 市債 財源内訳 その他 その他 その他 225,000【法的根拠】 一般財源 一般財源 一般財源 150,000 142,500 •社会教育法第29条、第30条 150,000 225,000 計 142,500 かすみがうら市公民館設置及び 節名称 金額 余額 節名称 節名称 余額 □ うち臨時分 節番 節番 節番 管理等に関する条例第20条 01 報酬 01 報酬 01 報酬 150,000 142,500 225,000 かすみがうら市公民館設置及び 1 1 管理等に関する条例施行規則第 11条、第12条 1 1 現在の委員の任期 平成25年4月1日~平成27年3月 31 ⊟ 歳出内訳 1 1 1 決算額計 150,000 決算額計 142,500 予算現額計 225,000 (参考) H24当初予算額 H25当初予算額 伸び率(%) 対・決 57.9 対∙予 225,000 225,000 人件費 職員人件費 0.20 人工 職員人件費 0.20 人工 職員人件費 0.25 人工 1,928,000 1,613,000 1,611,000 総事業費 歳出+職員人件費 1,763,000 歳出+職員人件費 1,753,500 歳出+職員人件費 2,153,000

■指標

12.17		22/ / 1	2V 88				T + 0 0 + +
種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	会議開催数	口		目標_	2	2	2
沽動				実績	2	2	
指標	会議開催数 			_目標_			
				実績			
	運営古針の家議・作成	口		_目標_	1	1	1
成果	運営方針の審議・作成	쁘		実績	1	1	
指標				目標			
	/r + 44 a 1			実績			

指標
1日信
■事務事業の点検
必要性の点検
■ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
✓ 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】口
● A:高い(義務) ○ B:普通 ○ C:低い
<total判定の根拠など、必要性に関する補足説明></total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>
諮問案件の審議だけでなく、有識者の幅広い意見を運営に反映させる貴重な機会である。
目標達成状況の点検
☑ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
✓ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
□ 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
【目標達成状況 Total判定】 ○ A:目標よりも大きな成果が得られた ○ B:概ね目標の成果が得られた
○ C:目標とする成果が得られなかった
<total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明></total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>
実施内容・方法の点検
社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
□ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
□ コストを下げる工夫が考えられる
✓ 成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】口
○ A:見直す余地があり直ぐに実施 ● B:見直す余地があるが時間が必要
┃ ○○○○ 見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明> 年2回の開催予定であり、意見を早急に求めたい場合に対応が難しく、定期的な報告に陥りやすい。

■課題と対応方策

課題	定例的な会議となることから、形骸化する恐れがある。
グ年度にあける 対応方策 (改善方等)	形骸化にならないよう、運営方針から事業内容面まで、あらゆる面から協議検討をしていく。また、公民館運営審議会に、事業仕分けを受けての市の方針「中学校区毎に地区公民館を配置(位置づけ)し、事業を展開する。」についての答申を得る。
はい対応力	公民館運営方針や事業内容面、ハード面(霞ヶ浦公民館施設の利用目的別部屋の設置等)について、他市町村等との比較、検討を行うなど大局的見地からも調査研究を行いたい。

■今後の方向性					
		一次評価	【課長評価】		
評価者	生涯学習課長	中泉栄一	担当課名霞	r浦公民館	
事業の方向性	○ このまま継続	ῗ ◉ 改善して糺	^{挫続} ○休廃止(年後を目処)	○ 終了
事業費の方向性	○増額	● 現状維持	○減額		
次年度の 取組方針 (改善方針)	公民館運営審事業を展開する	議会からの答 ることが適正て	申「各中学校区 ごあると考える。	区毎に地区公民館を 」に基づき進めてい	組織して、 く。

	二次評価【部	長評価】
部長名	小松塚隆雄	担当部名·教育委員会
確認	✓ 確認	
	地域の特性や課題を踏まえ、 う、事務局として運営に取り組ん	時代に即した公民館活動を審議いただくよ んでください。

※事務事業コード/ 0110040203 平成 26 年度 事務事業シート ● 無 ○ 有 (平成 課し霞ヶ浦公民館 部署名 部 教育委員会 事業年度期限! 年度~平成 年度) 新規/継続 款•項•目 100402公民館費 市民協働 行政主体 総合計画コード 3215 事業名 03霞ヶ浦地区公民館管理事業 (事業区分1) 不特定多数の利用に供するため、集会施設の安全性、機能性を保持確保する。 (成果) 老若男女幅広い年齢層の利用者に、多様なレクリエーション活動の場、コミュニティー活動の場を提供するため、安全を確保し、機能性を保持するために施設管理を行う。施設内 内 容 外の清掃、除草、補修等の維持管理作業及び業務委託を行う。 (概要) ■事業費 (単位:円) 平成24年度 決算 平成25年度 決算 平成26年度 予算 施設の火災報知器点検・浄化槽保守点 施設の火災報知器点検・浄化槽保守点検・施設管理・ 施設の火災報知器点検・浄化槽保守点 事業内容 檢•施設管理•室內清掃•除草作業 檢•施設管理•室内清掃•除草作業 室内清掃•除草作業 【特記事項】 〇25年度主な支出 国庫支出金 国庫支出金 管理人賃金 1,980,000円 国庫支出金 県支出金 (55千円/月×12か月×3人) 県支出金 県支出金 光熱水費 1.831.920円 市債 市債 市債 財源内訳 その他 その他 その他 1,000 一般財源 一般財源 一般財源 2,782,713 4,511,201 4,686,000 4,687,000 2,782,713 計 4,511,201 【施設概要】 節名称 節名称 金額 節名称 金額 □ うち臨時分 節番 余額 節番 節番 下大津地区公民館(木造平屋) 1,946,981 07 賃金 07 賃金 11 需用費 1,980,000 1,980,000 347㎡ 昭53.11建築 253,857 11 需用費 2,189,572 11 需用費 2,250,000 •牛渡地区公民館(鉄筋平屋)527 13 委託料 581.875 12 役務費 148,398 12 役務費 145,000 m 昭61.3建築 13 委託料 13 委託料 193,231 312,000- 1 安飾地区公民館(鉄筋平屋)506 m 昭60.3建築 ・志士庫地区第1公民館(木造平 屋) 508㎡ 昭57.10建築 歳出内訳 •志士庫地区第2公民館(木造平 屋) 255m 明37.10建築 1 1 決算額計 2,782,713 決算額計 予算現額計 4.687.000 4,511,201 (参考) H24当初予算額 H25当初予算額 伸び率(%) 対・決 3.9 対∙予 2,300,000 4,576,000 2.4 人件費 職員人件費 0.20 人工 職員人件費 0.20 人工 1,611,000 職員人件費 0.35 人工 2,699,000 1,613,000 総事業費 歳出+職員人件費 4,395,713 歳出+職員人件費 歳出+職員人件費 6,122,201 7.386.000

■指煙

	17%						
種	類 指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活	動 管理施設数	箇所	維持管理作業を行う施設の数	目標_	<u> 5</u> 5	<u>5</u> 5	5
指	漂			目標 実績			
成		人	公民館利用者の合計	目標_ 実績	$\frac{10,000}{6,357}$	<u>8,000</u> 6,296	8,000
指	利用団体数	□	公民館利用団体の数	目標_	80 85	<u>80</u> 79	80

■事務事業の点検

必要性の点検

- 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- □ 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
- ✓ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
- 【必要性 Total判定】口
- A:高い(義務) ○ B:普通
- O C: 低い <Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

地区公民館の管理施設は5箇所だが、地域振興・レクリエーション・精神的充足・緊急的な避難 先など様々な機能を備えており、利用者(市民)にとって重要な役割を担っている。

目標達成状況の点検

- ▽ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ▽ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

- A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた
- C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

下大津・志士庫第1・志士庫第2地区公民館は、老朽化により不安な状況の箇所も見受けられ、 安全面からも今後の修繕に課題が残る。

実施内容・方法の点検

- 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
 - 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
 - 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- コストを下げる工夫が考えられる
- ▽ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】口

- A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要
- C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

委託料等コスト面で引き続き努力している。管理方法については、市で設置管理する公民館施 設を今後、地区民が参画する維持管理に移行することも検討課題である。

■課題と対応方策

地区公民館については施設の老朽化が進み、修繕の必要がある箇所が 多く見受けられるが、地区公民館の統廃合の問題もあり、施設の存続が 課題 【見えてこないことから、必要最小限の修繕にとどめている。 *次年度における!地区公民館施設の修繕については、予算上厳しい状況ではあるが、地域 **対応方策** 住民が安全・安心に利用できるよう、危険性がある箇所は迅速に対応す (改善方策) る。 中長期的な視 地区公民館は公民館のみならず、投票所や避難場所など、様々な役割 点での対応方 とを担っていることもあり、関係部署、関係者、地域住民等で、横断的に公 民館に限定しない形での建物の存続の是非について協議する。 (改善方策)

■今後の方向性					
			【課長評価】		
評価者	生涯学習課	中泉栄一	担当課名電	資ケ浦公民館	
事業の方向性	● このまま継	送続 ○ 改善して終	継続 ○ 休廃止	(年後を目処)	○ 終了
事業費の方向性	○増額	◉ 現状維持	○減額		
		を受けての、市の 」に向けて調整		交区毎に公民館を配置	置し、事業

	二次評価【部	長評価】
部長名	小松塚隆雄	担当部名·教育委員会
確認	✓ 確認	
	規模拡大に伴うメリットが生かす 保して理解を得られるよう取り約	せるよう、地域の話し合いの機会を十分に確 且んでください。

・安飾まつり200人

ならせ餅を作ろう講座30人

※事務事業コード/ 0110040204 平成 26 年度 事務事業シート 課し霞ヶ浦公民館 事業年度期限! ● 無 ○ 有 (平成 部署名 部 教育委員会 年度~平成 年度) 新規/継続・継続・ 款·項·目 100402公民館費 市民協働 共催 総合計画コード 3215 事業名 (事業区分1) |04公民館活動推進事業 幼児から老人まで幅広い年齢層の住民が交流・参加できる身近な事業を提供することで、地域住民と協力しながら学習や意識の啓発を行い、親睦と融和を進め、更には地域振興 (成果) を図ることを目的とする。 内 容 各種事業を設定して、老若男女・年代間の参加を促し、或いは(直接参加できなくても)地域住民である意識・誇りを啓発し、住民活動を活性化して行く。 (概要) ■事業費 (単位:円) 平成24年度 決算 平成25年度 決算 平成26年度 予算 下大津・美並・牛渡・佐賀・安飾・志士庫の 🛮 下大津・美並・牛渡・佐賀・安飾・志士庫の 下大津・美並・牛渡・佐賀・安飾・志士庫の各地区にお 各地区において、合同運動会、体育祭、 各地区において、合同運動会、体育祭、 事業内容 いて、合同運動会、体育祭、球技大会、移動講座、ハイ 球技大会、移動講座、ハイキング、地域産 ||球技大会、移動講座、ハイキング、各種講 キング、各種講座を実施する。 【特記事項】 業体験事業、各種講座等を実施した。 座等を実施した。 〇25年度主な支出 国庫支出金 国庫支出金 国庫支出金 地区公民館役職員報酬 県支出金 県支出金 県支出金 2.813.000円 体育祭、球技大会記念品、賞品 市債 市債 市債 財源内訳 1.274.925円 その他 その他 その他 6,788,000 ハイキング、移動講座バス借上 一般財源 一般財源 一般財源 8,450,018 6,574,075 8,450,018 6,788,000 料 計 6,574,075 1.062.600円 節名称 - うち臨時分 余額 節名称 金額 節名称 節番 節番 節番 余額 2,783,900 01 報酬 2,813,000 01 報酬 01 報酬 2,827,000 07 賃金 1.980.000 08 報償費 1,496,425 08 報償費 1.487.000 【各地区公民館事業実績】 08 報償費 1,463,256 09 旅費 24,000 09 旅費 87,000 ・球技大会(ソフトボール・バレー 09 旅費 19,000 11 需用費 819,750 11 需用費 745,000 ボール)74チーム、809人 11 需用費 761,962 12 役務費 289,000 •体育祭約3200人 12 役務費 289,000 14 使用料及び賃借料 14 使用料及び賃借料 1,131,900 1,339,000 ハイキング497人、バス14台 14 使用料及び賃借料 1.152.900 19 負担金、補助及び交付金 14.000 ・移動講座400人、バス11台 歳出内訳 ・歩く会175人、

6,574,075

6,843,000

12,089,000

18,663,075

予算現額計

伸び率(%) 対・決 3.3

職員人件費 0.90 人工

歳出+職員人件費

6.788.000

-0.8

6,941,000

13,729,000

対•予

決算額計

H24当初予算額

職員人件費 1.50 人工

歳出+職員人件費

(参考)

人件費

総事業費

8,450,018

8,691,000

12,103,000

20,553,018

決算額計

H25当初予算額

職員人件費 1.50 人工

歳出+職員人件費

■指標

種	類 指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活指	事業実施数	事業	実施地区公民館数	_目標_ 実績	<u>6</u>	<u>6</u>	6
指	票			_目標_ 実績			
成	年間参加者総数	人	延べ人数	_目標_ 実績	<u>7,000</u> 6,846	<u>7,000</u> 5,311	6,000
指	票 			_目標_ 実績			

■事務事業の点検

必	更	生	の	占	杩
	~~		v	\overline{m}	75

- 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
- ✓ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
- 【必要性 Total判定】口
- A:高い(義務)● B:普通
- B:普通 C: 低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

共同体意識が希薄化している社会情勢にあって、かえって、地域意識を啓発してゆく意義は貴重性を増している。学習・レクリエーションのレベルにとどまらず、共同作業や活動を通し住民意識を広め、伝えてゆく継続性が重要とされる。

目標達成状況の点検

- ✓ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ✓ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
- 【目標達成状況 Total判定】
- ○A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた
- C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

参加人数は、各事業延べ年間約5,500人ほどにも及ぶ地域住民の参加があり、多くの事業を 行い地域の活性化と融和に貢献ができたと思われる。

実施内容・方法の点検

- 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
 - 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
 - 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- コストを下げる工夫が考えられる
- ✓ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】口

- A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要
- C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

球技大会や歩く会は参加者が少ない地区もあるため、地区役職員からの声掛け方法、チラシの 周知方法等に工夫を要する。

■課題と対応方策

(改善方策)

	地区公民館の統廃合及び適正配置について、地区公民館役員をはじめ とする地区住民に理解してもらう必要がある。
対応方策	地区公民館の役職員で構成する「地区公民館の統廃合に関する検討委員会」において、地区公民館の統廃合及び適正配置について協議を重ね、その方向性を打ち出す。
	地区公民館統廃合後の地区公民館活動について前向きに検討し、新しい形の地区公民館活動を展開していく。

■今後の方向性	
	一次評価【課長評価】
評価者	生涯学習課 中泉栄一 <mark>担当課名</mark> 。霞ヶ浦公民館
事業の方向性	○ このまま継続 ● 改善して継続 ○ 休廃止 (年後を目処) ○ 終了
事業費の方向性	○ 増額 ● 現状維持 ○ 減額
次年度の 取組方針 (改善方針)	施設としての地区公民館と組織・コミュニティとしての地区公民館を別に考 え、今後の方向性について検討を進める。

二次評価【部長評価】							
部長名	小松塚隆雄	担当部名·教育委員会					
確認	✓ 確認						
	地域の特性や課題を踏まえ、時代に即した公民館活動が推進できるよう事務局として取り組んでください。						

平成 26 年度 事務事業シート ※事務事業コード/ 0110040205 Р1 部署名 | 部 | 教育委員会 課霞ヶ浦公民館 事業年度期限! ● 無 ○ 有 (平成 年度~平成 年度) 新規/継続・継続 会 計 一般会計 款•項•目 100402公民館費 市民協働 行政の関与 総合計画コード 3215 (事業区分1) 事業名 05霞ヶ浦公民館運営事業 目的 自ら学習活動に参加し、その中で学ぶ楽しさや喜びを感じながら自己実現を図ることができ、生涯学習としてとらえた講座を計画する。 (成果) 教養の向上等を図り生活文化の振興福利の増進に寄与するため、老若男女あらゆる世代のニーズに対応できる講座を計画実施する。 (概要)

■事業費									(単位:円)	
	平成24年度 決算			平成25年度 決	算	平成26年度 予算				
	IT・アロマセラピー・絵画・韓 習会等の講座を開催した。	国語•料理講	づくり等の詞	E木・健康・おせた 構座を開催した。	5料理・お菓子			する各種事業を	実施する。	【特記事項】 ○25年度主な支出
	国庫支出金		国庫支出金			国庫支出金				映画フィルム借上げ料469,087円
	県支出金		県支出金			県支出金				講座・教室講師謝礼 291,500円
財源内訳	市債		市債			市債			077.000	
	その他・	1,498,279	その他	1	1,443,665	その他	l		277,000	
	一般財源	1,498,279		+	1,443,665	一般財源			526,000	【事業実績】
		, ,	 節番	節名称	金額		節名称	金額・	うち臨時分	映画上映会:3日7作品
	08 報償費		08 報償費			08 報償費	אוי דוי ווי	342,000	7.2 mm + () /)	延べ606人 受講率87%
	09 旅費		11 需用費			11 需用費		357,000		※25年度で事業終了
	11 需用費		12 役務費		47,720	12 役務費		47,000		前期講座:5講座(85人)
	12 代務費			及び賃借料		14 使用料》		14,000		延べ296人、受講率77%
	14 使用料及び賃借料	573,672	19 負担金、	補助及び交付金		19 負担金、袖	前助及び交付金	43,000		後期講座:6講座(85人) 延べ241人、受講率71%
	19 負担金、補助及び交付金		27 公課費		20,000	•		-		延1241人、艾讷平7190
4E () 4E =0	27 公課費	30,000								
歳出内訳						1		1		
			1			•		1		
			-							
	•		1			•		i		
								-		
						1		i		
			1			1		+		
	決算額計	1,498,279		算額計	1,443,665		見額計	803,000	0	
(参考)	H24当初予算額	1,614,000		初予算額			対・決 -44.4	対·予	-50.6 -	
人件費	職員人件費 0.50 人工			費 0.50 人工		職員人件費			3,856,000	
総事業費	歳出+職員人件費	5,532,279	歳出+	敞員人件費	5,472,665	歳出+職	員人件費		4,659,000	

■指標

種類		単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動	講座の開設	件	講座の開設数	_目標_ 実績	<u>_ 11</u> 11	<u>10</u> 11	10
指標				目標_			
成果	講座の年間受講率	%	講座の募集定員に対する受講者の割合	_目標_ 実績	$\frac{80}{74}$	$\frac{80}{74}$	80
指標				目標_			

Ί	■事務事業	美の点検		•	•				
业	必要性の点	ā検							
	✓ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある								
		を休廃止した場合、							
		情勢の変化を踏まえ	えても十分なニー	-ズがある(二	一ズを説明できる	3)			
		E Total判定】□							
	● A:高い	(100100)	—						
-	<total判< th=""><th> 定の根拠など、必要</th><th>要性に関する補足</th><th>足説明></th><th></th><th></th></total判<>	定の根拠など、必要	要性に関する補足	足説明>					
F	神泽守小	犬況の点検							
۴		に関する昨年度のE	1 煙け無か達成	できた					
H		に関する昨年度の日							
H		リ組み方針(改善方針			ついて昨年度の	日煙け達成できた			
H	【日煙诗	成状況 Total判定	1			日禄は足みてこれ			
	○ A:目標	まりも大きな成果が得	られた ③ B:概ね B	目標の成果が得	られた				
		要とする成果が得られな?							
	<total半< th=""><th> 定の根拠など、目的</th><th>内達成状況に関</th><th>する補足説明</th><th>></th><th></th></total半<>	定の根拠など、目的	内達成状況に関	する補足説明	>				
亲	f規講座の)導入、講師の発掘	等を図り、市民ニ	ニーズに適した	講座を実施でき	た。			
3	≧協内突•	方法の点検							
-		情勢やニーズの変化	化等を踏まえる。	ト サービス対	象・水準を見直*	す必要がある			
Н		事業の受益者が特				727 57 67 6			
H		事業者やNPOなど							
		トを下げる工夫が考		,,,, u, u, u					
Г		を高める工夫が考え							
	【実施内	容等 Total判定】[]						
	O A:見直	す余地があり直ぐに実力	施 ● B:見直	す余地があるが田	寺間が必要				
	○ C:見ī	直す余地がない							
<	くTotal判別	定の根拠など、実施	内容・方法に関	する補足説明	>				

市民ニーズや時代性等の把握により、更なる目標達成に努めたい。

■課題と対応方策

■ 休逸と別心刀.	<u>~</u>
課題	講座運営等の事業以外にも多くの対応を霞ヶ浦公民館事業が内包しているため、それぞれの事業総量に比較し職員数が少ない。他事業とのバランスで、講座設定時期が偏る傾向がある。事業費の制約がある。
	講座の数を減らし、1講座の回数を増やし内容を充実させる。新規講座を 企画し、公民館施設等を多目的に活用する。
	講座修了生の同好会結成や後進指導など、アフターフォロウ、活動支援 を行っていく。

■今後の方向性	■今後の方向性						
	一次評価【課長評価】						
評価者	生涯学習課 中泉栄一 <mark>担当課名</mark> 。霞ヶ浦公民館						
事業の方向性	○ このまま継続 ● 改善して継続 ○ 休廃止 (年後を目処) ○ 終了						
事業費の方向性	○ 増額 ● 現状維持 ○ 減額						
取組方針	各文化団体等の会員の高齢化が進み、社会教育施設利用者数が減少していることもあり、新しい同好会やサークル等が結成されるような講座の企画や講座受講生への働きかけをお願いしたい。						

1	二次評価【部長評価】							
	部長名	担当部名」教育委員会						
	確認	確認						
		地域の特性や課題を踏まえ、「 事務局として取り組んでくださ	時代に即した公民館活動が推進できるようい。					

※事務事業コード/ 0110040208 平成 26 年度 事務事業シート Ρ1 ● 無 ○ 有 (平成 課電ヶ浦公民館 事業年度期限! 部署名 部 教育委員会 年度~平成 年度) 新規/継続 款•項•目 100402公民館費 市民協働 市民主体 総合計画コード 3215 事業名 (事業区分1) 08集落センター連絡協議会運営事業 目的 地域作り研修会及び料理講習会等により、集落センターの円滑な運営を期する。また、地域振興促進など活力ある地域づくりに寄与する。 (成果) 内 容 集落センターの円滑な運営を図るため、集落の相互連絡、情報交換を行い、生活環境の改善に資する事業を行う。 (概要)

■事業費 (単位:円) 平成24年度 決算 平成25年度 決算 平成26年度 予算 環境美化運動、料理講習会、地域活性化地環境美化運動、料理講習会、地域活性化促進事業、視 環境美化運動、料理講習会、地域活性化 事業内容 |察研修を行う。 促進事業、視察研修を行った。 促進事業、視察研修を行った。 (特記事項) 〇25年度主な支出 国庫支出金 国庫支出金 国庫支出金 集落センター連絡協議会補助金 県支出金 県支出金 県支出金 90.000円 市債 市債 市債 財源内訳 その他 その他 その他 91,000【事業実績】 一般財源 一般財源 一般財源 90,000 90,000 91,000 •環境美化運動(草花苗配布) 90,000 計 90,000 前期=10集落、後期=9集落 節名称 節名称 余額 - うち臨時分 節番 余額 節番 節名称 余額 節番 地域活性化事業(映画試写会、 19 負担金、補助及び交付金 90,000 19 負担金、補助及び交付金 90,000 09 旅費 1,000 映画会) 19 負担金、補助及び交付金 90.000 試写会=28人、東野寺=62人、 外葉=40人 1 ・視察研修会(埼玉県草加市)29 •女性部料理講習会(洋食料理作 り あじさい館にて)31人 歳出内訳 1 1 決算額計 90,000 決算額計 90,000 予算現額計 91,000 (参考) H24当初予算額 90,000 H25当初予算額 伸び率(%) 対・決 1.1 対·予 90.000 1.1 人件費 職員人件費 0.30 人工 職員人件費 0.30 人工 職員人件費 0.30 人工 2,420,000 2,417,000 2,313,000 総事業費 歳出+職員人件費 2,510,000 歳出+職員人件費 2,507,000 歳出+職員人件費 2,404,000

■指揮

		日代						
禾	種	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活	5期	地域活性化促進事業数	旦	事業の普及数	_目標_ 実績	<u>2</u>	$\frac{2}{3}$	2
扌	標	料理講習会実施数	事業	事業の実施数	目標 実績	<u> </u>	<u>1</u>	1
月	課	料理講習会参加者数	人	参加者数	_目標_ 実績	<u>24</u> 20	$\frac{24}{31}$	24
扌	標				目標_			

■事務事業の点検

必要性の点検

- 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- □ 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
- 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
- 【必要性 Total判定】口
- A:高い(義務) ○ B:普通
- O C: 低い <Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

地域単位の活動支援だけでなく、近年重視される「ふるさと」意識の啓発と地域づくりを目指す 土壌作りを志向し活動を活性化させ、併せて合併後の地域交流、相互理解も狙い運営してい

目標達成状況の点検

- ✓ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ✓ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

- A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた
- C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

既存事業の再構築と目標の明確化・周知などの努力により、参加者の支持を得、新規事業の立 ち上げ継続など、目標内容を達成してきた

実施内容・方法の点検

- 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
- 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
- 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- コストを下げる工夫が考えられる
- ▽ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】口

- A:見直す余地があり直ぐに実施 ● B:見直す余地があるが時間が必要
- C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

県組織が解散したことから、推進体制の弱体化が危惧されている。市長部局との連携を再構築 する必要が生じている。

■課題と対応方策

まちづくり、地域おこしの一環として運営してきた。事業数と内容、参加者 課題 ■数と意識、いずれも上向傾向である。県組織が22年度末で解散し、県の 事業に替わる新規事業を検討している。

対応方策 (改善方策)

次年度における 人気のある事業や新規事業を展開しながら、事業内容の実情把握に努 める。

中長期的な視 点での対応方

(改善方策)

「個々の集落で地域意識を高めていき、全市的に参加を促し、意識(学習) 面から産業経(実利)面へと発展させる。県の組織が解散したことから、今 ・後の在り方(解散)についても検討していく。

■今後の方向性

一次評価 【課長評価】 評価者 生涯学習課 中泉栄一 担当課名 霞ヶ浦公民館 事業の方向性 ● このまま継続 ○ 改善して継続 ○ 休廃止(年後を目処) ()終了

事業費の方向性 増額

● 現状維持

○ 減額

映画会、視察研修、料理講習会など、公民館事業と重複しているような事 次年度の 取組方針 「業であることから、その差別化や、逆に公民館事業への統合について検」 (改善方針) 討する。

二次評価【部長評価】

担当部名 教育委員会 部長名 小松塚隆雄 確認 ✓ 確認 まちづくりを基軸とする点では、公民館活動と共通していることから、相乗 効果が上げられるような体制を検討してください。

※事務事業コード/ 0110040209 平成 26 年度 事務事業シート Ρ1 ●無 ○有 (平成 部署名 | 部 | 教育委員会 課霞ヶ浦公民館 事業年度期限 年度~平成 年度) 新規/継続・継続 一般会計 款•項•目 100402公民館費 会 計 市民協働 共催 総合計画コード 3215 事業名 (事業区分1) 09新生活運動推進協議会運営事業 目的 新生活運動を推進することにより、生活の合理化と充実を図る。生活環境等を調査検討することで、住民の生活意識高揚を期する。 (成果) 内容 運動の趣旨を啓蒙するチラシの作成・配布。花輪ポスターの印刷・活用。運動普及への研究、事例調査等を行う。 (概要)

■事業費 (単位:円) 平成26年度 予算 平成24年度 決算 平成25年度 決算 啓蒙チラシの配布。花輪ポスターの印刷。 啓蒙チラシの配布。花輪ポスターの印刷。 啓蒙チラシの配布。花輪ポスターの印刷。運動普及へ 事業内容 運動普及への調査研究。 運動普及への調査研究。 の調査研究。 【特記事項】 〇25年度主な支出 国庫支出金 国庫支出金 国庫支出金 印刷製本費(葬祭用ポスター) 県支出金 県支出金 県支出金 75.600円 補助金 39.270円 市債 市債 市債 財源内訳 その他 その他 その他 一般財源 一般財源 一般財源 141,026 114,870 114,000 114,000 計 141,026 計 114,870 節名称 金額 節名称 金額 節名称 金額 うち臨時分 節番 節番 節番 11 需用費 11 需用費 97,650 11 需用費 69,000 75,600 19 負担金、補助及び交付金 19 負担金、補助及び交付金 43,376 39,270 19 負担金、補助及び交付金 45,000 1 - 1 1 歳出内訳 1 1 1 1 決算額計 141,026 決算額計 114,870 予算現額計 114,000 (参考) H24当初予算額 H25当初予算額 伸び率(%) 対・決 -0.8 対·予 144,000 144,000 -20.8人件費 職員人件費 0.30 人工 職員人件費 0.30 人工 2,417,000 職員人件費 0.20 人工 2,420,000 1,542,000 総事業費 歳出+職員人件費 2,561,026 歳出+職員人件費 2,531,870 歳出+職員人件費 1,656,000

■指煙

	類		単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活	·動	会議開催数		協議会の役員会、理事会等	目標_	<u>3</u> 5	3	3
指標	標				目標 実績			
		葬祭ポスターの利用枚数	枚	花輪の代わりに葬祭ポスターを利用してもらい、生活の合理化を図る。	目標_	<u>2,000</u> 1,300	2 <u>,000</u> 685	1,000
指	標	組合員の加入募集実施	回	火災見舞基金組合啓発チラシを配布し、新規組合員の加入募集を図る。	目標_	<u> </u>	<u>1</u>	1

■事務事業の点検

心	要	生	9	卫	だ

- 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
- 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
- ✓ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】口

○ A:高い(義務) ● B:普通

O C: 低い <Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

任意団体ではあっても、旧出島村時代に区長会を中心に結成されており、団体の利益を目指 すものでなく、市政の補助、或いは公益活動の性格を内包する。

目標達成状況の点検

- ▽ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- ▽ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
- 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

- A:目標よりも大きな成果が得られた

 B:概ね目標の成果が得られた
- C:目標とする成果が得られなかった
- <Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

実施内容・方法の点検

- ✓ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
 - 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
 - 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
- コストを下げる工夫が考えられる
- 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】口

- A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要
- C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

個人の生活様式・価値観は多様化し、地域での啓蒙に難しい問題がある。先進地が極めて少 ないため、活動方針や手法の調査・整理見直しに継続的に時間を要す。

■課題と対応方策

まちづくりの一環として運営している。生活水準の向上、生活様式の変化 課題 などで、社会的な要求は変遷している。 次年度における 周知・啓蒙を継続することが重要であり、優良事例の発掘や、チラシの作 対応方策 成・配布等で活動を継続しつつ、調査検討する。また、 (改善方策) 中長期的な視 点での対応方」生活の多様化、特に個人意識を重視して活動手法を整理検討し、各種の 啓蒙機会の性格ごとに手法を用意し、きめ細かな対応をしてゆく。 策 (改善方策)

■今後の方向性	■今後の方向性						
		一次評価【	課長評価】				
評価者	生涯学習課長	中泉栄一	担当課名。霞月	ヶ浦公民館			
事業の方向性	○このまま継続	● 改善して維	<mark>≝続○休廃止</mark> (年後を目処)	○ 終了		
事業費の方向性	○増額	● 現状維持	○減額				
次年度の 取組方針 (改善方針)	事業の必要性別	及び公民館で	担当することの	の適正について検討	する。		

	二次評価【部長評価】						
部長名	小松塚隆雄	担当部名」教育委員会					
確認	✓ 確認						
	虚礼廃止など、本運動が生活 在の社会情勢の中での必要性	の簡素化に果たしてきた役目は大きい。現 Eについて検討が必要です。					